

別添1

基本評価シート

様式

ニホンジカ

(宮崎県 環境森林部自然環境課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定等		
	指定管理鳥獣捕獲等		
	効果的捕獲促進		
都道府県名	宮崎県	担当者部・係名	自然環境課
担当者名	甲斐 央浩	担当者連絡先	0985-26-7291
捕獲実施事業者	(株)マツダコーポレーション、岩切環境技研 (株)（認定を受けている） (一社)宮崎県猟友会 (認定を受けていない)	予算額（※2）	24,064,741円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	19,152,760円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成 28 年度から適用される交付金所要額調書様式 1-2 「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
242 頭	263 頭	109%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
86,264 頭	保護優先地域 5 頭/km ² コントロール地域 2 頭/km ²	13,586 頭
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
3,991 頭	21,859 頭	0 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

○狩猟における狩猟期間の延長、捕獲数制限の解除、くくりわなの輪の直径の制限の解除
○有害捕獲において捕獲班活動支援（経費の一部助成）、農水省の交付金及び県単事業により 8,000 円/頭の助成

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	記述欄：宮崎県においてニホンジカは、県のほぼ全域に生息しており、令和4年度末の生息数は約 86,000 頭と推定している。特に県北、県中部の県境付近及び県西部の霧島地域で生息密度が高くなっている。 また、令和4年度のニホンジカによる農林作物等への被害額は約 1 億 4 千万円で被害額全体の 38%を占めており、深刻な状態が継続している。

	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	安全管理対策として、以下のとおり実施した。 ・作業日程についての関係機関へ通知 ・作業実施前の注意喚起標識設置 ・安全講習会の実施 ・作業前・作業後のミーティング実施 ・事故発生時の緊急連絡体制を整備
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数： 27 人 (内訳) 正規雇用者： 12 人、期間雇用者： 人 日当制：15 人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価：県北地域を除いては捕獲目標を達成できた。
	改善点： 【日之影・延岡地域】 農林作物等の被害額は減少しているが、生息密度は増加と推定されていることから引き続き捕獲事業を実施し、生息密度の減少を促す。 【県北地域】 前年度から比較して、生息密度は増加と推定されている。農林作物等の被害額も前年度と同程度で減少が見られないことから、今後も継続して捕獲を行う必要がある。 前年度に続き、檜葉鳥獣保護区での捕獲ができていないため、檜葉鳥獣保護区について捕獲を行っていく必要がある。 【県西地域】 生息密度は依然として高いと推定されている。農林作物等の被害額も前年度と同程度で減少が見られていない。隣県からの個体の移動の可能性もあるため、今後は隣県と連携した捕獲を行うことも検討する必要がある。 【県南地域】 天神ダム周辺については、オス比が高く、侵入初期地域と考えられるがその北部域の生息密度が増加傾向と推定されていることから、天神ダム周辺に加えて、その北部域の捕獲についても検討する必要がある。
	【実施期間】
	評価：概ね適切である。 改善点：近接地域の有害捕獲、個体数調整捕獲と重複しないように、関係機関と連絡を密にして捕獲時期を決定する。
【実施区域】	評価：鳥獣保護区（7箇所）と天神ダム周辺で実施。
	改善点：生息密度の高い鳥獣保護区については、狩猟が実施できないため、当該事業による捕獲を継続して実施し、捕獲数の上乘せを行う。また、生息密度が高く、被害額が多い地域を選定し、当該事業により捕獲圧を高める。天神ダム周辺については継続して実施する必要があるが、当該箇所北部域の生息密度が増加と推定されていることから、北部域の捕獲についても検討する。
【捕獲手法】	評価：捕獲効率が昨年度より減少した。 （R4:0.029 頭/基日→R5:0.022 頭/基日） 区域により捕獲効率（CPU E）の差が大きい。
	改善点：前年度と同一捕獲区域においては捕獲効率に大きな差がない。新たに捕獲区域となった日之影・延岡地区及び、全体値を下回っている区域の捕獲効率を上げるための場所や捕獲方法の検討を行う必要がある。

2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：概ね適切である。
	改善点：特になし。
【個体処分】	評価：適正に処理された。
	改善点：特になし。
【環境配慮】	評価：国立公園内については、区域外に搬出し適正に処理された。
	改善点：特になし。
【安全管理】	評価：緊急時の連絡網が整備されるなど、常に連絡が取れる体制で捕獲を実施できた。
	改善点：特になし。

3. その他の事項に関する評価及び改善点

4. 全体評価

生息密度が高い鳥獣保護区を重点的に実施することで、目標頭数に達したが、さらに捕獲強度を上げるため同地区で継続して捕獲を実施する必要がある。

県境付近や本事業による捕獲実績のない区域で密度の高い区域で、生息密度が高くなっているため、本事業の捕獲の実施を検討する必要がある。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

県北、県西、日之影・延岡地域については、鳥獣保護区での捕獲を実施したことにより狩猟ができない地域での捕獲頭数の上乘せに寄与したと考える。県南地域については、本事業以外でのシカの捕獲がほとんど無いことから、本事業による分布拡大の防止ができているものとする。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
① 捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
② 捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報（胎児の有無、角の形状、体重、体長、後足長）	
③ 目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④ 捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題		

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

① 銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数^{※2}： - 人日

出猟（捕獲作業）人日数： - 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	-人日	-人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

④ わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}： 894 人日

事前調査人日数概数^{※2}： 39 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 855 人日

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	12,054 基日	9,870 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	-頭	-頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	-頭	-頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※雌雄比、幼獣・成獣比については捕獲数が1頭のため増減の傾向について算出していない。

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日	頭/人日

			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

③ わなによる捕獲

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (事業年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	263 頭	288 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.59	0.66	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.16	0.17	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	263 頭	12,054 基日	0.022 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 88 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

成果品及び業務成果に関する報告書の作業工程毎の状況写真

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。